

ツマグロヒョウモン

Argyreus hyperbius



種名

分類	タテハチヨウ科
----	---------

形態

前翅長 27～38mm。暖地性なヒョウモン類で、♂と♀で斑紋が異なる。後翅長の外縁が紫色に縁取られる。♀は前翅長に翅端が黒紫色、中には斜白帯をもつ。カバマダラに擬態するといわれる。裏面は前翅が橙色をおび、後翅は黄褐色の地色に、緑色斑がある。

分布

本州(中部地方以西)、四国、九州、南西諸島。記録は北海道までであるが、土着しているのは、本州以南の温暖地に限られる。南西諸島には広く分布する。移動性があり、夏から秋にかけて北上、東進する。

出現期

沖縄諸島以南では周年成虫が見られる。九州以北では、第1回目が2～5月に羽化する。秋までに年4～5回、発生を繰り返す。幼虫、蛹で越冬する。

生態

市街地でも見られる。畑、河原、山地の草原など様々な環境に棲む。ハクニチソウ、コスモス、セイタカアワダチソウなどで吸蜜する。♂は山頂に集まり、占有行動を取る。

食樹

スミレ科のスミレ、サンシキスミレなど。

幼虫
(幼生期)

体長 45mm。地色は黒色、背面に橙赤色の太い縦縞があり、胴部には棘をもつ。

出現時期

(月)

—

2

3

4

5

6

7

8

9

10

—

—

その他

参考文献：検索入門 渡辺康之著 チヨウ